

| 科目名<br>(科目番号) | 高齢者福祉工学<br>(052781)  | 教員名<br>椎名 清和<br>他  | 学科等  | 診療放射線  | 選択          | 履修年次 | 3 |
|---------------|--|--|--|--------|-------------|------|---|
|               |  |  | 曜日・時限等   | 時間割表参照 | 単位数         | 1    |   |
|               |  |  | オフィスアワー  |        | 各担当教員シラバス参照 |      |   |
| 授業概要          | わが国においては、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・生活支援・医療・介護・予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が目指されています。そのためには、人による支援だけでなく、機器による支援も必要となってきます。そこで、本授業では、高齢者の生活を豊かにするための機器に関する知見を得ることを目的に、既存の制度についての講義と外部講師による最新の医療機器に関する講義をおこないます。 |  |  |        |             |      |   |
| 準備学習          | 毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。  |  |  |        |             |      |   |
| 授業計画          | 回  | 授業項目   | 到達目標・学習内容  |        |             |      |   |
|               | 1  | オリエンテーション<br>工学と高齢者の生活<br>(椎名)   | 到達目標:授業概要を理解し、Classroom機能を利用できるようになる。<br>学習内容:『授業計画』等により、授業概要やレポートの提出方法を確認する。<br>学習内容:視聴覚資料をもとに、工学と高齢者の生活について考察する。 |        |             |      |   |
|               | 2  | 介護保険制度 [福祉用具]<br>(椎名)  | 到達目標:福祉用具や利用の手続き等について説明することができる。<br>学習内容:介護保険制度の概要を学習する。   |        |             |      |   |
|               | 3  | 人間工学とリハビリテーション<br>(理学療法学科:縄井)  | 到達目標:福祉用具の人間工学に基づいた使い方を理解する。<br>学習内容:医療・介護領域で使われる福祉用具について学習する。   |        |             |      |   |
|               | 4  | 人に優しい放射線機器の開発<br>(外部講師:塩見)   | 到達目標:人にやさしい機器の開発コンセプトについて理解する。<br>学習内容:医療機器開発の専門家から考える、障害者・高齢者ケアのための機器の開発について学習する。                                 |        |             |      |   |
|               | 5  | 近未来の医療機器<br>(外部講師:五月女)   | 到達目標:HALを含めた最先端の近未来医療機器について理解する。<br>学習内容:身体機能を改善・補助・拡張することができる世界初のサイボーグ型ロボットHAL (Hybrid Assistive Limb) について学習する。  |        |             |      |   |
|               | 6  | 障害福祉サービス [補装具等]<br>(椎名)  | 到達目標:補装具や利用の手続き等について説明することができる。<br>学習内容:障害福祉サービスにおける補装具や日常生活用具等について学習する。   |        |             |      |   |
|               | 7  | コミュニケーションロボット<br>(椎名)  | 到達目標:コミュニケーションロボットの効果を最大化するために人間がすべきことを指摘することができる。<br>学習内容:コミュニケーションロボットが特別養護老人ホームをはじめとした福祉現場でどのように利用されているのかを学習する。 |        |             |      |   |
| 8             | 機器のアイデア検討<br>(椎名)  | 到達目標:話し合いにより、機器のアイデアを具体化(言語化)する。<br>学習内容:第1～7回の授業をもとに、高齢者の生活を豊かにするための機器のアイデアを話し合う。 |  |        |             |      |   |
| 成績評価の方法・基準    | 複数回のレポートの合計点で評価します(100%)。  |  |  |        |             |      |   |
| 教科書           | 使用しない。適宜資料を配付したり、参照すべきホームページ等を指示したりする。   |  |  |        |             |      |   |
| 参考図書          |  |  |  |        |             |      |   |
| 教員からのメッセージ    | 豊かな発想をもとに、必要なものを創りだしたり、新しい活用方法を見いだしたりしましょう。そうすることが社会を変えていくことにつながると思います。レポートはコメントを付して返却します。なお、授業の進度、その他必要に応じて内容を変更することがあります。  |  |  |        |             |      |   |